

込み上げる怒り

定年退職前倒しは認めぬ

幸教中田 3分会

加しておこなわれた。抗議集会を終えて家に帰ると同時に、解雇状が送られてきた。腹の底からうらみと怒りが込み上げてくる。

奇しくも、今日は沖繩慰霊の日である。四十五年前の沖繩戦で住民を巻き込んだ地下戦となったが、本土決戦までの時間かせぎの捨て石作戦であったという。しかも、軍命令による集団自決事件も起きていた。この戦争も当時の権力者によって引き起こされたものであり、犠牲になったのは力のない国民だった。

この沖繩慰霊の日、今の権力者である自民党政府と三井の企業家、生産性向上のいきついた先は首切りだった。これで真の意味がはつきりとおぼろげにされた。年退職として生活設計を立ててきたのが土台から崩れた。それはかなりではない。五十五歳まで働いた権利を紙切れ一枚で奪い、三井闘争以来新幹部を懐柔し、企業本位の弱者を切り捨ててきた。この風雨にもかわらぬ多数が参加したのが土台から崩れた。



降りしきる豪雨の中で怒りの抗議集会(6月23日)

思い。定年制の「前倒し」による首切りは絶対認められない、会社が撤回するまで頑張る決意だ。そして私たちのたたかいを支援してくれ、新労組員の皆さんに感謝する。(六月二十四日)

なんで座るのか

「前川レポート、貿易交渉、第八次石炭政策と、すでに石炭つじ、の大きな流れは決まってるじゃないか」

「わずか百七十人の三池労組がどうあがいても方向は変えられん。大多数を占める三池新労と職組は合理化案を受け入れて条件交渉に入っているではないか」

「ストライキ、座り込み、無駄な抵抗じゃないのか。会社に、大三井にどんな打撃を与えるのか。これで合理化がはね返されるのか。効果がある戦術なのか」

「こんなことが周囲から伝わって、正直なところ座り込んでいられる俺にもよく分からん。それなら君はどうするつもりなのか。」

「このためでもない。俺のなかの、自分史としての座り込み。」

「五月二十五日」

- ### 合理化反対闘争へのカンパ
- #### 陣中見舞・激電・寄せ書への お礼(第三次分)(順不同 敬称略)
- 〔カンパ〕
新労組A. 荒尾・野瀬。自治労福岡県職員組合。母親大会大牟田地区実行委員会。CO家族の会。富田唯嘉。遺族会。溝口生松。池田トミ。退職者。関良平。新生区。大和末義。新日本婦人の会熊本本部。新日本婦人の会熊本本部。新日本婦人の会熊本本部。吉野・杉野一幸。東京。阿貝根登。新日産水保労組。福岡県CO守る会(三池出身福岡在住)。荒尾市職員労働組合。筑紫野。五島頼子。自治労福岡県本部。全労済熊本本部。熊本県高教組荒尾地区本部。遺族会愛知県居住者。片桐政子。西村玉子。竹本花枝。田上二子。松竹スミ子。校支部。
 - 〔激電〕
全日通労組熊本県支部委員長林キミト。全農九州地本城北分会。明治佐賀成成労組OB会長。山崎直。福岡。直岐地区労。福岡県教組田川支部。福岡県教組荒尾地区支部。福岡。田川地区労。熊本県高教組天草農高支部。参議院議員。渡辺四郎。熊本県牛深市職労委員長。平畑ハヤシ。熊本県高教組水産高専支部。熊本県玉名工業高専支部。
 - 〔陣中見舞〕
CO家族の会。斉藤清子。新労組B。全労済筑後営業所。中原健頭。荒尾地評。退職者。池田栄吉。山田自転車店。荒尾地評。式島会長。退職者。米村。退職者。瀬崎福幸。二分会。釜水保労組。貨物鉄産九州地区原口征記。三池遺族会。渡辺ミドリ。四分會。前川弘子。六分
 - 〔寄せ書〕
全日自労八幡支部。鉄産労鹿児島地方本部。建設一般全日自原健頭。荒尾地評。退職者。労働者。新日本婦人の会荒尾支部。尾支部。国労種内精算事業団分會。鉄産労大分地区本部。新日産水保労組。貨物鉄産九州地区原口征記。三池遺族会。渡辺ミドリ。四分會。前川弘子。六分物鉄産大分支部。

四山鉱の歴史の中から

朝鮮人収容の一断面

武松輝 男

第十一回

前号に続いて、強制連行朝鮮人のことについて述べる。まず、三池炭鉱で使役していた朝鮮人の収容所のことだが、このことについてはすでに『みいけ』一九八三年十月十六日から一九八四年三月十六日号にかけて記している。それを参考に、もう一つ、この収容所について述べる。朝鮮人への処罰(記)しているが、処罰などといえる代物ではない。戦争遂行に献身することを主要なことからした当時の善悪の基準



カットも筆者

しよに青竹を挟ませて座らせ、その間に、おこなわれていた。これは非常に痛い。試みに直径五センチ程度の青竹を、とくに節のところで、裏にへらへらに挿んで座らせてみる。おぼろげに、これを二時間も二時間もやらされたら、裏側の関節を無理にはずすようなものだから、それこそ耐えるなどいへない。朝鮮人への処罰(記)しているが、処罰などといえる代物ではない。戦争遂行に献身することを主要なことからした当時の善悪の基準

支援の輪広がる

カンパなど新たな取り組みも

大量人へらし合理化に反対しました。心からお礼を申し上げます。また、福岡・熊本県評を中心とした三池労組に、六月三十日現在でカンパ八十八件、陣中見舞八十三件、寄せ書七十九件、激電七十件が寄せられ、また座り込みへの激励などもいただきました。さらに頑張る決意です。